



安全・安心の
追求

原子力発電所の安全確保に万全を期します

関連するSDGs



当社の原子力発電所は、「**世界でも最も厳しい水準にある新規制基準**」に適合し、安全対策の有効性が確認されています。
今後も、「**福島第一原子力発電所のような事故は決して起こさない**」という固い決意のもと、原子力発電所の安全運転に万全を期すとともに、更なる安全性・信頼性向上への取り組みを自主的かつ継続的に行っていきます。

■ 重大事故を防ぐため、5つの段階に応じた多様な安全対策を実施

① 異常の発生を防ぎます

地震や津波、竜巻などの大規模な自然災害に対する備えを強化

② 異常の拡大を防ぎます

重大事故の防止に必要な電力を確保するため、多種多様な発電機を新たに配備

③ 燃料の損傷を防ぎます

燃料の冷却を確実に実施するため、多種多様なポンプを新たに配備

④ 格納容器の破損を防ぎます

格納容器の冷却手段の多様化、水素濃度の低減対策を実施

⑤ 放射性物質の放出及び拡散を抑えます

放射性物質の放出、拡散を抑えるため、放水砲や水中カーテンを配備

〔玄海原子力発電所の安全対策(概要)〕

① 防火帯

樹木を伐採しモルタルを吹付け

発電所方面→

② 高圧発電機車



② 大容量空冷式発電機



③④ ポンプ車



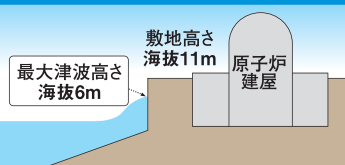
① 資機材を守る保管庫を設置



⑤ 放水砲



① 発電所敷地は、想定される最大の津波より高い位置に



④ 水素除去装置



⑤ 水中カーテン

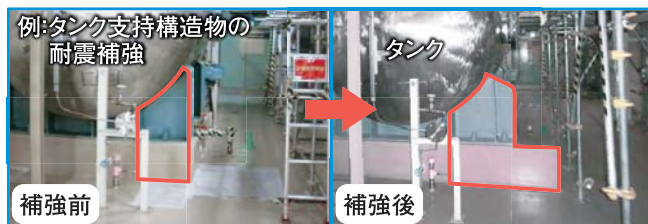


② 具体的にどのような安全対策を行っているの? 詳しくはウラ面へ

当社原子力発電所における主な安全対策(玄海原子力発電所における取組み事例)

1 異常の発生を防ぎます

地震や津波、竜巻などの大規模な自然災害に対する備えを強化



想定される最大の
基準地震動(620ガルほか)を
踏まえた耐震対策



最大風速100m/秒の竜巻を
想定した対策



発電所周辺での森林火災の延焼を
防止する防火帯

2 異常の拡大を防ぎます

重大事故の防止に必要な電力を確保するため、多種多様な発電機を新たに配備



外部電源や非常用ディーゼル
発電機が使用できない場合の
バックアップ電源

3 燃料の損傷を防ぎます

燃料の冷却を確実に実施するため、多種多様なポンプを新たに配備



水を供給する各種ポンプが使用
できない場合に備えたポンプ車
(④の対策にも活用)

4 格納容器の 破損を防ぎます

格納容器の冷却手段の多様化、水素濃度の低減対策を実施



原子炉格納容器内での水素爆発を
防ぐ水素除去装置

5 放射性物質の放出 及び拡散を抑えます

放射性物質の放出、拡散を抑えるため、放水砲や水中カーテンを配備



原子炉格納容器の破損箇所に水を直接
噴射し、放射性物質の放出を抑制する
放水砲

放射性物質の前面海域への拡散を抑制
する水中カーテン

●川内原子力発電所においても、同様の安全対策に取り組んでいます。